

共同印刷、「FTSE JPX Blossom Japan Index」の構成銘柄に初選定 —「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」にも継続選定—

共同印刷株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:大橋 輝臣 以下 当社)は、ESG(環境・社会・ガバナンス)投資の代表的インデックスとして、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が採用する「FTSE JPX Blossom Japan Index^{※1}」の構成銘柄に初めて選定されましたので、お知らせいたします。

当社は「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index^{※2}」についても、引き続き構成銘柄に選定されています。

共同印刷グループは、社会・環境問題をはじめとするサステナビリティ課題を収益機会や成長性につながる重要な経営課題と認識し、持続可能な社会の実現および当グループの中長期的な企業価値の向上をめざす「サステナビリティ経営」を推進しています。今後も、グループ全体でサステナビリティ経営を着実に推進するとともに、ステークホルダーの皆さまとの対話と情報開示の充実を通じて、持続的な企業価値の向上に努めていきます。

※1 「[FTSE JPX Blossom Japan Index](#)」について

「FTSE JPX Blossom Japan Index」は、グローバルなインデックスプロバイダーである FTSE Russell が作成し、環境、社会、ガバナンス(ESG)について特定の対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。FTSE Russell の評価は、コーポレートガバナンス、健康と安全性、腐敗防止、気候変動といった分野について行われており、「FTSE JPX Blossom Japan Index」の構成銘柄である企業は、環境、社会、ガバナンスに関するさまざまな基準を満たしています。

※2 「[FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index](#)」について

「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」は、グローバルインデックスプロバイダーである FTSE Russell が作成し、各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス(ESG)について特定の対応を行っている日本企業のパフォーマンスを反映する指数で、セクター・ニュートラルとなるよう設計されています。また低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI 経営品質スコアにより改善の取り組みが評価される企業のみを組み入れています。